



2015 合同教育研究全道集会

発行：2015 合研実行委員会事務局

子どもを人間として大切にする教育と、 平和な世の中をつくる営みをひとつに！

2015年合同教育研究全道集会参加のみなさん、2日間お疲れ様でした。日々忙しい中、参加していただいたことに心から感謝いたします。また、合同教研成功のためにご奮闘いただいたスタッフのみなさんのご協力とご尽力に心から感謝と敬意を表します。

2日間の日程を終え、延べ1349人の保護者、教職員、研究者、各界のみなさんが参加し、レポート総数210本となりました。また、多くの学生・青年のレポートが報告されました。これらのレポートには共感が広がるとともに、多くの参加者かに希望と元気を与えるものとなりました。

5本のテーマ討論では、集まって語り合える「場」づくりが必要（憲法）、若者も大人も、「私たちはこんな力を身につけたい」と改めて考えた（18歳選挙権）、集団の中で子供たちがどう学び、育ちあっていくのかが問われている（インクルーシブ）、『どんな学校を創るのか』『教育とは』を考える一つのチャンス（道徳）、使用する「用語」に執筆者や会社の歴史認識が現れる（アイヌの歴史）、等の議論が交わされました。

教育の夕べでは、池澤夏樹さんから「原発、沖縄基地、憲法、教育…日本の将来、北海道の未来」と題して講演をいただき、「戦後の沖縄を除けば他国による荒い支配を受けたことがない世界でも希有な国という歴史を含めて、日本という国の歴史と国土に見てとれる良いところ、悪いところ、そして「これから」を考えていきたいもの」と語られました。

今年の合同教研は、安倍政権によって日本が再び「戦争する国」へと突き進もうとする中、平和で民主的な社会への展望を語り合い、いのちや人間らしく生きることを最優先にした社会を築くことの大切さや、それを阻むもとのたたかうこと、そのためにつながり合うことの重要性が確認されました。

今教研における実践交流・討論が、これから職場や地域、家庭で「子どもたちを人間として大切にする教育のあり方」を語る上での貴重な糧となれば幸いです。子どもたちに希望ある平和な未来を手渡すことができるよう、今後も全道・全国の仲間とともに、憲法や子どもの権利条約を学び、活かし、広げていく教育に全力をあげることがを心から呼びかけます。

2015年11月8日

2015 合同教育研究全道集会実行委員会
事務局一同

教育の夕べの感想

- ◆今おきていること、それに対して主権である自分たちが動かないといけないと思います。知識人といわれる人たちが、ものを言えなくするのが次の段階でしょう。そうなると思えば引戻すのが大変になるなと思いました。（50代・教職員）
- ◆今の時世をどう考えたらよいか、考える一助となりました。日本における”人権””平等””民主主義”などの言葉の意味を問い直し、考え直し、正しく教えるべきだと感じました。（40代、教職員）
- ◆教養の大切さが身にしみて感じられる充実した内容のすばらしい講演でした。聞き手の毎日の知性を信頼して話してくださっているという感じを受けて感銘しました。（50代、教職員）
- ◆夕べのラストの“うたごえ”。温かい雰囲気は素晴らしい。楽譜があると歌いやすかったです。（50代、教職員）
- ◆迫力のあるよさこいの演舞や、最後のうたごえは、文化の香りがする教育研究集会を感じることができました。（40代、教職員）

テーマ討論の感想

- ◆（憲法）参加して良かったです。ママの会の方の活動のことを、生の言葉で聞いたこと、あすわかの方の神保さんの楽天的な、しかし、確言に基づく明快な話を聞いたこと、しめくりのお話も、とても良かったです。
- ◆（憲法）久々の参加です。このようなテーマ討論は初めてでした。パネラーの方のお話、とても分かりやすかったです。紙にキーワードを書き、自分の思いを発信するという進め方はとてもいいですね。発言者も話しの内容はまとめでやすいし、それは、聞いている人にとっても良いことでした。改めて、これからでも自分のできることは何かを考えてみました。

分科会の感想

- ◆（教育条件）現在教員を目指す身として、教員の現状を知る大変いい機会となった。自分も職業として考えるならば、労働条件についてきちんと考えなくてはならないと感じた。（20代、学生）
- ◆（教育条件）教師の勤務時間についてのレポートで、新任の教師がどんな環境で働いているかについて、普段は聞けないことなので驚いた。（20代、学生）
- ◆（生活指導）現場の先生方のレポートは非常に興味深く学びが多かったです。家庭で安心感が得られていない子に対し、家庭の役割を学校が担う形になる現状を知りました。（20代、学生）

2015 合同教育研究全道集会 参加者・レポート数一覧

【参加者数】
のべ **1349人**

テーマ討論	202名
教育のタペ	305名
分科会1日目	388名
分科会2日目	336名

【レポート総数】 210本

分科会	のべ人数	レポート数	分科会	のべ人数	レポート数	分科会	のべ人数	レポート数	
第1 国語教育	47	22	第12 総合学習・生活科	17	8	第23 子ども・青年の発達と教育	28	9	
第2 外国語教育	30	5	第13 教育課程と子どもの学力・評価	20	8	第24 不登校・登校拒否・高校中退	58	12	
第3 社会科教育	42	19	第14 学校と家庭の生活指導	38	10	テーマ討論① 戦後70、憲法と平和を考える	45		
第4 数学教育	44	16	第15 教育条件確立の運動	31	5	テーマ討論② 18歳選挙権の実現	50		
第5 理科教育	28	14	第16 子ども・父母参加の学校づくり	21	5	テーマ討論③ インクルーシブな教育づくり	32		
第6 美術教育	13	4	第17 地域における子育て・学習運動	27	8	テーマ討論④ 道徳の特別の教科化	45		
第7 書教育	18	7	第18 地域と学校の文化・スポーツ活動	18	4	テーマ討論⑤ アイヌの歴史	30		
第8 音楽教育	15	2	第19 国民のための大学づくり	32	4	事務局	30		
第9 技術・職業教育	11	5	第20 障害児・障害者の教育と福祉	69	14	運営委員	31		
第10 家庭科教育	25	4	第21 環境・公害と教育	15	7	保育室利用	21	保育アルバイト	7
第11 保健・体育教育	32	7	第22 平和・憲法、人権・民族と教育	45	11	書籍・物販	18	学生ボランティア	11